

# 令和6年度さいたま市風しん抗体検査のご案内

さいたま市では、下記の要件を満たす方に対し、風しん抗体検査を実施します。

## 1. 対象者（【共通要件】及び【対象者別要件①、②、③のいずれか】を満たしている方が対象となります）

<b>【共通要件】</b>	
(1)	検査日時点でさいたま市に住民登録がある方
(2)	これまでに風しんの予防接種を受けたことが無い方
(3)	これまでに風しんの抗体検査を受けたことが無い方
(4)	これまでに「検査等の結果による風しんの確定診断」を受けたことが無い方
(5)	年齢が16歳以上の方
<b>【対象者別要件①】妊娠を希望する女性の場合（妊婦の方は対象外です）</b>	
(6)	50歳未満の方
<b>【対象者別要件②】「妊娠を希望する女性」の同居者<sup>※1</sup>の場合</b>	
(7)	昭和37(1962)年4月2日～昭和54(1979)年4月1日生まれの男性 <sup>※2</sup> でない方
(8)	「上記(1)～(6)の要件を全て満たす女性」の同居者 <sup>※1</sup> の方
<b>【対象者別要件③】「風しん抗体価が低い<sup>※3</sup>妊婦」の同居者<sup>※1</sup>の場合</b>	
(9)	昭和37(1962)年4月2日～昭和54(1979)年4月1日生まれの男性 <sup>※2</sup> でない方
(10)	「風しん抗体価が低い <sup>※3</sup> ことがわかっている妊婦」の同居者 <sup>※1</sup> の方

※1 同居者とは生活空間を同一にする頻度が高い方です。

※2 該当生年月日の男性は緊急風しん抗体検査等事業の対象となるため、当事業の対象外です。

※3 風しん抗体価が低いとは、EIA法で8.0未満またはHI法で16倍以下です。

2. 検査期間 令和6年4月27日（土）～令和7年3月8日（土）
3. 検査場所 さいたま市風しん抗体検査実施医療機関（必ず電話等で予約をしてください）
4. 検査費用 無料（1度限り）
5. 必要な物
- ・風しん抗体検査依頼書（実施医療機関に用意してあります）
  - ・健康保険証または生活保護受給証
  - ・本人確認書類（運転免許証、マイナンバーカード、住民基本台帳カード等）
  - ・本人の母子健康手帳（持っている場合）
  - ・妊婦の風しん抗体検査結果確認書類（上記1.(10)に該当する方のみ）

6. 検査回数 1回 ※風しん抗体検査後、原則として検査を受けた本人が、実施医療機関へ再度お越しいただき、結果の説明を受けることになります。

◆◆◆ 詳しくは、下記各区役所保健センターへお問い合わせください ◆◆◆

西 区保健センター	TEL 048-620-2700	FAX 048-620-2769	桜 区保健センター	TEL 048-856-6200	FAX 048-856-6279
北 区保健センター	TEL 048-669-6100	FAX 048-669-6169	浦和区保健センター	TEL 048-824-3971	FAX 048-825-7405
大宮区保健センター	TEL 048-646-3100	FAX 048-646-3169	南 区保健センター	TEL 048-844-7200	FAX 048-844-7279
見沼区保健センター	TEL 048-681-6100	FAX 048-681-6169	緑 区保健センター	TEL 048-712-1200	FAX 048-712-1279
中央区保健センター	TEL 048-840-6111	FAX 048-840-6115	岩槻区保健センター	TEL 048-790-0222	FAX 048-790-0259

裏面もご確認ください ▶

# 風しん抗体検査を希望される方へ

## 1. 風しんとは

風しんは、風しんウイルスによって引き起こされる急性の風しんウイルスによっておこる急性の発疹性感染症で、風しんへの免疫がない集団において、1人の風しん患者から5~7人にうつす強い感染力を有します。

風しんウイルスの感染経路は、飛沫感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播します。症状は不顕性感染（感染症状を示さない）から、重篤な合併症併発まで幅広く、特に成人で発症した場合、高熱や発疹が長く続いたり、関節痛を認めるなど、小児より重症化することがあります。また、脳炎や血小板減少性紫斑病を合併するなど、入院加療を要することもあるため、決して軽視はできない疾患です。

また、風しんに対する免疫が不十分な妊娠20週頃までの妊婦が風しんウイルスに感染すると、先天性風しん症候群の子どもが生まれてくる可能性が高くなります。

## 2. 先天性風しん症候群予防のために

妊娠初期の女性が風しんにかかると、お腹の赤ちゃんも風しんウイルスに感染し、先天性風しん症候群とよばれる病気を持って生まれてくる場合があります。先天性風しん症候群とは、生まれつきの心臓病、目がよく見えない、耳がよく聞こえないといった、心臓、目、耳などに色々な組み合わせで障害をもつことがある病気です。妊娠週数が早いほど発生頻度が高いと言われています。

妊婦と一緒に生活しているご家族が、妊婦への感染原因となりがちなことから、周囲の方が、予防接種を受けるなど、風しんにかからないようにしておくことも大切です。

## 3. 過去の定期予防接種の対象について

平成2年4月2日以降に生まれた人は2回、昭和54年4月2日~平成2年4月1日に生まれた人が1回、昭和54年4月1日以前に生まれた男性は0回となっています。

風しん抗体検査を受け、抗体が低いと判断された場合は主治医と相談の上、自費接種となりますが、ワクチン接種をご検討ください。

## 4. 風しんウイルスに対する免疫

風しんとよく似た症状の病気は色々あるので、風しんにかかったことがあるという記憶だけで免疫があると考えるのは危険です。

逆に、不顕性感染があるので、風しんにかかったことが無い方でも、十分な免疫を持っていることがあります。